

# オバマ米大統領の ヒロシマ訪問に思う

5月27日、テレビ中継を見ながら、オバマ氏の平和記念公園到着を今か、今かと待っていた。厳重な警備のなか車列が近づいてくる。それは、被爆者や多くの日本人が「あり得ないこと」と思いつつ、待ち望んでいた被爆地訪問、71年目の歴史的瞬間である。

「もっと早く来ていれば」の声は多いが、米国は戦後50年頃から、広島訪問を前向きに検討していたらしい。実現しなかったのは、日本外務省の反対が理由の一つである。

2009年には外務事務次官が駐日大使に「日本国民の期待を抑える必要がある。訪問は時期尚早だ」と主張していた(毎日新聞)とか。

また、「1944年、ルーズベルト米大統領とチャーチル英首相が、原子爆弾完成の暁には日本に使うことで一致した(ハイドパーク覚書)」とある。この史料だけでも原爆投下が「終戦を早める議論ではなく、日本は早くから実験の標的にされていたことが推測されるだろう。

原爆資料館では複数の特設展示を見た後、「サダコの折り鶴」をしゃがみこんで、目線の高さで見学し、自ら持参した折り鶴を供えたといわれる。また、子ども達にも平和の象徴としての折り鶴を手渡した心使いには未来志向の人間の優しさが感じられよう。

原爆慰霊碑前に花輪を手向け、5秒間、目を閉じて犠牲者を追悼した。格調高い約17分間のスピーチには「核兵器なき世界」への目標を掲げ、その実現のためにたゆまぬ努力を「積み重ねること」を内外に示唆したものと受け止められる。

# ヒロシマ訪問の意義

オバマ氏だからこそ実現した訪問、5秒間の黙祷には様々な思いが感じられた。それは被爆者との対面や交流の態度にも表われていた。

温和な笑顔で歩み寄り、握手し、抱擁までしたとき、リベラルで平和を希求する姿勢を感じた。

「罪のない命」を追悼するだけでなく、平和のために核戦争の可能性を減らすことを世界に発信し「核なき世界」への扉をノックした歴史的瞬間と言えるよう。

核兵器による人類滅亡を防ぐのは被爆国の使命とも言える。日本の戦後70年は平和国家として、経済の復興と国民の健康や福祉政策を推進し「安全・安心の国づくり」をすることができた。この平和路線を大切に、自然災害をはじめ原発事故や核被害の問題などにも、よそごとではなく、自分との関わり、「どう向き合えばよいか」が問いかけてられている。

(春日人権相談員)



(写真上) 相談員が撮影した原爆ドームの写真。(写真右) 原稿を執筆中の春日人権相談員。

## 11月5日(土) 10時から 人権文化祭「ハートフルフェスタ」を開催!

- 各種文化活動の発表
  - 3Dプリンター体験教室
  - うどんバザー
  - 陶芸・手芸などの販売
  - 焼きそば
  - フリーマーケット
  - ヤマメの塩焼き
  - スマイリー・ドラゴン ミニ live
  - ポップコーン無料配布
  - 郡山子ども神楽団
  - 豪華景品ビンゴ大会!
- などなど ご来場お待ちしております!

※内容が変更になる場合がありますので、ご了承ください。

### 【編集後記】

特集の取材を通して感じたことがいくつかあります。一つ目は、どの分野でも現場の声がもっと広く伝わっていかねばならないなと感じました。現場に関わりを持たない人は知らないことが多すぎます。ですから、伝える必要のあることを伝えるという「伝える側の責務」を痛切に感じました。

二つ目は、「当事者性」の大切さです。人間はこの社会の中で、必ず何がしかの“バックボーン(背景)”を持っています。それは生まれつきがもたらすもの。人生半ばで突然降りかかるもの。経験や出会いから得る場合などなど。そのすべては楽しいことばかりではなく、時には、皆で解決していかねばならない社会の問題や矛盾も含まれます。そういった時の当事者が語る言葉には重みがあり、その人にしか分からない領域があります。だから当事者が語る言葉が、聴く者の心を揺さぶるのだと思いました。

三つ目は、中国新聞「天風録」(2016.8.25)の“オーガストの言葉”を読んで感じたことと、特集タイトルにした「あたりまえ」という言葉に込めた私自身の思いです。それは、異質な存在を遠ざけ、関わらないようにしようとする原因は、相手のありのままの姿である「あたりまえ」を受け入れることができない、私を含めた周囲に原因があるのではないかと取材を通して感じました。

そして相手を理解し共生していくためには、遠ざけて見るのではなく、近づいて、ひとりひとりの「あたりまえ」を、しっかりと見つめることが大切なんだという思いをタイトルに込めました。

最後にこの場を借りて、取材に応じたいただいた「からふる吉田」と「くらむぼん」の関係者の方々、そして、作成途中落ち込んだ私を励ましてくれた大切な友人に、感謝とお礼を申し上げます。(原田)

Heartfelt Fest 人権文化祭

11/5 (土)

会場 吉田人権会館 (ハートフルプラザ 5F)

10時から

豪華景品ビンゴ!

吉田人権会館  
では「人を大切にふれあいと交流の輪を広げよう」をテーマにステージ発表、バザー、作品展示など、楽しくておいしい文化祭を開催します。

ビンゴゲーム  
や子ども神楽など小さなお子さんも楽しめるイベントです。お誘いあわせのうえ遊びに来てください。  
※ビンゴゲームは10時40分頃始まりです。

スマイリードラゴン Mini Live

郡山子ども神楽団